

11月生涯研抄録

エビデンスに基づいた歯科医療 における院内感染防止対策

石濱孝二 (大阪警察病院歯科口腔外科部長)

患者血液の飛沫による術者への汚染は心臓血管外科手術で75%、脳外科手術では69%であったのに対し、歯科治療における歯科医師への汚染を調査した報告では歯冠形成で92%と高い曝露率であった。その理由は、高速回転切削器具の使用、圧搾空気を原動としている歯科タービン、そこに噴霧される注水、はね返りやすい口腔の形状、手術野・形成部位と術者の目の距離が近いことなどが考えられる。また、超音波スケーラーを用いた歯石除去でも40%の術者(歯科衛生士)に飛沫汚染を認めている。歯科治療における出血は量的には少ないが、歯科医療従事者に対し高い確率で患者血液、すなわち感染性物質の曝露を受けていることを認識しなければならぬ。このような飛沫曝露に対する予防策としてマスク、ゴーグル、フェイスシールドなど個人防護具の使用が有効である。しかしながら適切に使用しなければ確実な防護にはならない。また、高速回転切削器具、超音波切削器具の使用で発生したエアロゾルにも感染性物質が含まれていることが報告されている。エアロゾルは飛沫よりも粒径が小さく、肉眼では見えない大きさである。前半の演者の研究を紹介することによって後半の基本的、一般的な院内感染防止対策についての理解が深まると幸いである。

(開催日等詳細は6面)

論点

奈良県は第3期県医療費適正化計画において、設定した県医療費目標(2023年度、4813億円)の達成が図れない場合に、県国保保険料の引き上げを回避するために「地域別診療報酬」の導入を国に求めることを打ち出した。

それは、高齢者医療確保法第14条に規定される「診療報酬の特例」で、厚労相は一つの都道府県の区域内における診療報酬を、他と異なる定めを

設けることができる、という扱いの発動を求めるもので、具体的には、1点10円の診療報酬単価を、例えば奈良県のみ9円にするのである。

医療崩壊招く

もし、1点9円となれば県下医療機関の経営を直撃し、地域医療はたちまち疲弊し崩壊の危機にさらされる。設備更新の先送りや人件費カット等の厳しい経費削減、検査



地域別診療報酬

根底に国負担の低水準

青山哲也 (奈良県保険医協会理事長)

や投棄等で赤字になる診療行為は手控えが広がりがねない。奈良県での医療機関経営は敬遠され、医療従事者の県外流出も起る。雇用の場でもある医療関係職の落ち込みは地域経済の悪化を招く。県民は、最新の医療技術等の恩恵が受けられず、良質な医療や受療の機会さえ奪われていく。府県境を挟んで、同じ医療行為の価格が異なれば、受診行動にも影響し、その混乱は近隣府県にも及ぶ。

発想の根本的誤り

県医療費目標にあわせて、保険料引き上げか診療報酬引き下げかを迫る

支払い困難な人は 無低診で窓口負担軽減



大阪社保協発行「2018-2020相談活動ハンドブック」は1冊300円。ご希望の場合は、協会事務局まで。

【対象】
対象者は、低所得者やホームレス、生活保護受給者、DV(ドメスティックバイオレンス)被害者など、生活が困難な者だ。詳しくは、実施医療機関に問い合わせを。

【指定医療機関】
大阪府内では、72の医療機関が指定を受けており(17年6月現在)、大阪市、堺市、東大阪市、吹田市、茨木市、門真市、泉佐野、豊中市、寝屋川市、松原市、八尾市、富田林市、岸和田市、泉南市、泉南郡にある。医療機関名や所在の詳細は、ハンドブックか、府のホームページ(<http://www.pref.osaka.lg.jp/houjin/miryuteigaku/>)で。

地域別診療報酬の活用

●各般の取組を進めてもお「第3期医療費適正化計画」に掲げた医療費目標を達成できない場合において、(略)いわゆる地域別診療報酬の適用、すなわち本県における診療報酬について異なる定めを行うよう、国に意見を提出することを検討する方針です。

●具体的には、(略)目標を上回る医療費となった場合には、(略)診療報酬単価(1点10円)を一律に引き下げることを含めた診療報酬上の対応により、本県における国保の保険料水準引上げを回避できる水準まで医療費水準を抑制していくことを検討します。(以下略)

(第3期奈良県医療費適正化計画より抜粋)

発想が根本的に誤っている。必要な医療を県民にいかん保障するかが課題であり、根底に国保財政悪化の重大な要因たる国の低すぎる負担水準の問題がある。県が国に言うべきはその改善である。県計画の医療費目標は、国の示す標準的な算出方法によらず独自の方法により、その差は432億円も低い数値という

蟻の一穴許さない

地域別診療報酬は、患者・県民と医療者を分断

し、奈良県と他府県に格差をつくり地域を分断する。もし実施されれば悪しき先例、蟻の一穴となって「横展開」されるだろう。

県発表に衝撃を受けた医師会をはじめ県医療界は当然のごとく「反対」である。御所市では3師会長が共同で市長へ県による地域別診療報酬の検討に反対との意見を出した。市町村議会から県へ撤回を求める意見書が河合町と大和高田市議会でも採択された。

このような愚策を実現させぬよう、当会は諸団体、県民とともに全力で反対運動に取り組み。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

個別指導対策講習会〜こんな歯科医院が選ばれやすい

日時 10月27日(土) 午後3時〜5時
場所 マイドームおおさか8階会議室
※保険医まつり会場 定員 60人
講師 社保研究部講師団 会費 千円(会員限定)
※「カルテ記載を中心とした指導テキスト」(2017年8月版)をお持ちください

大阪府西部地区講習会
歯科臨床で必要な認知症の知識

日時 10月28日(日) 午前10時〜午後1時
会場 マイドームおおさか8階会議室
※保険医まつり会場 定員 150人
講師 松本一生氏(旭区開業・大阪市立大学大学院生活科学研究科客員教授)
会費 会員無料、未入会者1万円

医療・歯科経産部共催 第2回医療法人セミナー
医療法人の運営・認可をめぐる最新の動向
設立から継承・解散まで

日時 10月28日(日) 午後3時〜4時30分
会場 マイドームおおさか8階会議室
※保険医まつり会場 定員 60人
講師 織田耕平氏(織田行政書士事務所取締役)
会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円

大阪市南部地区文化企画
古地図で巡る、梅田から大満

日時 11月3日(土) 午後2時〜4時(雨天決行)
集合 午後2時にホワイテイウめだ(梅田地下センター1) 首根崎警察署前(地下です)
解散 午後4時 懇親会を予定
※解散後、懇親会を予定
案内 西俣稔氏(大阪案内人) 定員 15人
コース 首根崎村跡↓こて地蔵↓歯神社↓堀川監獄跡↓扇町由来↓偉人ゆかりの寺町↓京阪梅田線予定地跡↓天満紡績跡(概要)
会費 無料(懇親会参加の場合は実費、3千円程度)

「保険でよい歯科医療を」大阪連絡会 市民講座
いつも歯と歯が触れていませんか? 1000歳まで自分の歯を使うためには

日時 11月11日(日) 午前10時〜正午
会場 M&Dホール(保険医協会館東隣り)
講師 木野孔司氏(元東京医科歯科大学准教授、木野顎関節研究所所長)
会費 無料 定員 100人 (6面に続く)

無料相談

法律	11月5日(月) 午後2時〜4時
雇用	11月15日(木) 午後2時〜4時
税務	11月21日(水) 午後2時〜5時

※会場は保険医協会館。1週間前までに要申し込み

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。